

前橋市新議会棟建設基本計画（概要）

1 施設の概要

新議会棟は、議会活動に必要な機能に加え、災害対策本部及び危機管理室等を配置し、災害対策の拠点として防災機能を強化した施設とします。また、解体予定の職員研修会館との複合化。さらに、1階フロアについては、市民利用も踏まえたスペースも含めて検討します。

2 規模について

新議会棟の全体規模は、次のとおりです。

延床面積 約6,500㎡ ～ 約7,500㎡ （議会機能部分 約3,400㎡ ～ 約4,400㎡）
（行政機能部分 約3,100㎡）

「新議会棟」と解体予定建物である「現在の議会棟及び職員研修会館」の規模を機能別に比較すると次のとおりになります。

解体予定建物【現在の議会棟 3,810㎡ 職員研修会館 1,970㎡ 合計延床面積 5,780㎡】

区分	面積（㎡）
議会機能（現議会棟の議会機能部分）	約 3,150
行政機能（現議会棟の行政機能部分 約 660㎡） （職員研修会館 約 1,970㎡）	約 2,630
合計	約 5,780

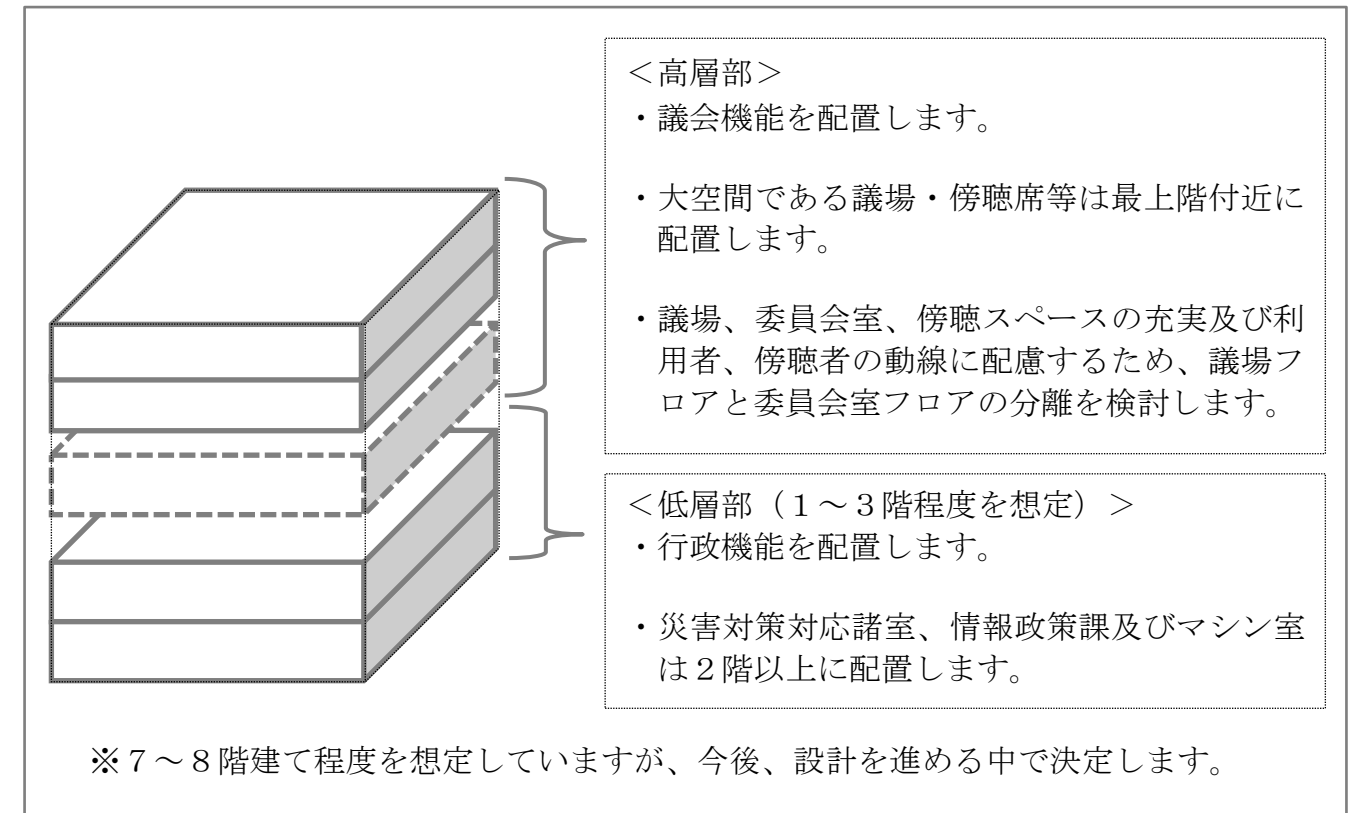


新議会棟【延床面積 6,500㎡～7,500㎡】

区分	面積（㎡）	増加面積（㎡）
議会機能	約 3,400～ 約 4,400	約 250～ 約 1,250
行政機能 行政機能（防災機能強化） 約 1,000㎡ 行政機能等（その他） 約 2,100㎡	約 3,100	約 470
合計	約 6,500～ 約 7,500	約 720～ 約 1,720

現在の議会棟と職員研修会館を複合化することにより、施設規模の適正化を図ります。また、議会機能については、現在課題であるバリアフリー化への対応及び傍聴者等への適正な動線を確保します。行政機能については、防災機能の強化、本庁舎の狭あい改善及び市民サービスの向上を図るために必要面積を確保します。

3 階層イメージ



4 事業概要

(1) 建設費等

概算 39～45億円
（約 6,500㎡～約 7,500㎡）

- ・現時点で試算したものであり、今後変動する可能性があります。
- ・7～8階建て、免震構造の想定です。
- ・接続通路、外構、既存解体を含みます。
- ・備品、移転、本庁舎側の設備改修費等の経費は含みません。
- ・消費税(10%)を見込んでいます。

(2) 財源等

有利な起債を活用して一般財源の抑制を図ります。

○緊急防災・減災事業債：平成32(2020)年度まで活用予定(充当率100%交付税措置70%)

○防災対策事業債：平成33(2021)年度以降の活用予定(充当率90%交付税措置50%)
交付税を除いた実質の市負担想定額は、約15億円～約17億円となります。

(3) スケジュール

年度	30年度 (2018年)	31年度 (2019年)	32年度 (2020年)	33年度 (2021年)
基本計画	■			
基本・実施設計		■		
文化財調査		■		
改築工事		■	■	■
解体工事等				■ →